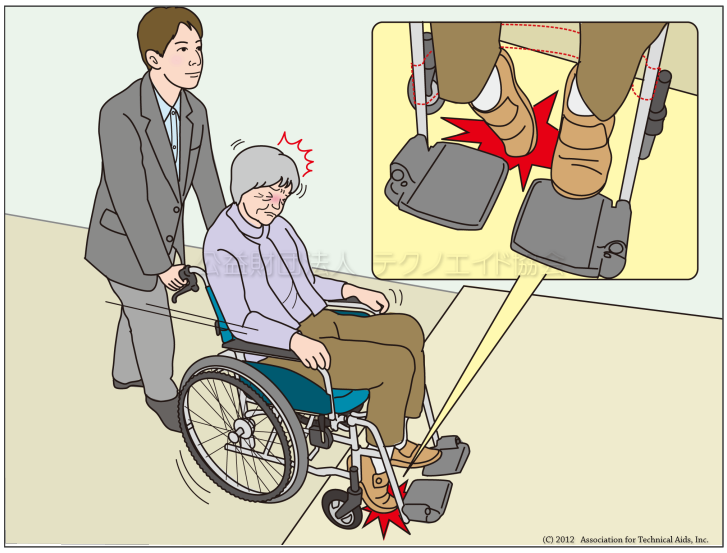
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：113

段差を越えた衝撃で足が落ちてしまい、ケガをしそうになる

場面の説明

段差を越えた衝撃で利用者の足がフットサポートから落ちてしまったが、介助者はよそ見をして気づかず操作してしまった



利用シーン	移動
主な利用場所	廊下 段差・縁石
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

車いすを利用する人の身体状況には、大きな個人差があります。座位の不安定な人では、少しの段差の衝撃でも、足や腕が落ちてしまうことがあります。特に足は地面との間に挟まってしまい捻挫や骨折を引き起こすこともあります。レッグサポートはこのような危険を防ぐ目的で装備されている安全部品なので、利用者や介助者の都合などで外したままにしておくことのないよう注意しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：介助者がレッグサポートの大切さを理解していない
人：レッグサポートを装着していなかった
人：死角になっている箇所に注意がいかなかった

管理：レッグサポートの管理を怠っていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.